



TITLE:

# エンドメトリオーシスによる尿管 狭窄の1例

AUTHOR(S):

岩崎, 雅志; 布施, 秀樹; 片山, 喬

---

CITATION:

岩崎, 雅志 ...[et al]. エンドメトリオーシスによる尿管狭窄の1例. 泌尿器  
科紀要 1991, 37(2): 179-182

ISSUE DATE:

1991-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/117108>

RIGHT:

## エンドメトリオーシスによる尿管狭窄の1例

富山医科薬科大学医学部泌尿器科学教室 (主任: 片山 喬教授)

岩崎 雅志, 布施 秀樹, 片山 喬

URETERAL STENOSIS DUE TO ENDOMETRIOSIS:  
A CASE REPORT

Masashi Iwasaki, Hideki Fuse and Takashi Katayama

*From the Department of Urology, Faculty of Medicine, Toyama Medical and Pharmaceutical University*

A 37-year-old woman was admitted to our hospital to examine left hydronephrosis. Retrograde pyelography showed left lower ureteral stricture. Abdominal CT scan revealed a tumor 1 cm in diameter in the left lower ureteral stricture. The diagnosis of left hydronephrosis and hydroureter due to left lower ureteral stricture was made, and left uretero-ureterostomy was performed. The histological findings revealed extrinsic type ureteral endometriosis.

The present case, and the cases reported in the Japanese publications are reviewed.

(Acta Urol. Jpn. 37: 179-182, 1991)

**Key words:** Endometriosis, Ureteral stenosis, Ureteroureterostomy

## 緒 言

子宮内膜症 (エンドメトリオーシス) は婦人科領域では比較的高頻度に認められるものであるが, 泌尿器科領域では稀である。われわれは最近, 尿管周囲に浸潤し尿管狭窄をきたしたエンドメトリオーシスの一症例を経験したので, 若干の文献的考察を加えて報告する。

## 症 例

患者: 37歳, 女性

主訴: 左水腎の精査

家族歴: 特記すべきことなし

既往歴: 15歳, 虫垂切除術

その他, 結核および婦人科手術の既往なし。

現病歴: 1984年10月頃, 高血圧 (180/100 mmHg) を指摘され降圧剤の投与を約6カ月間うけた。1985年4月3日某医のDIPにて左水腎を指摘され, 精査目的で4月11日当科に入院した。

入院時現症: 体格中等度, 栄養状態良好, 貧血, 黄疸は認められず。胸腹部に理学的異常所見は認めなかった。婦人科内診では, 左側仙骨子宮靱帯の肥厚と著明な圧痛があった。前屈する子宮下に鶏卵大の嚢胞が存在し, この嚢胞と子宮後壁間に癒着があり圧痛もみられた。月経時軽い疼痛あり。

入院時検査所見 血液一般および血液生化学検査では異常を認めなかった。尿所見: 淡黄, 清, 蛋白 (±), 糖 (-), 潜血 (-), 尿沈査: RBC 0/hpf, WBC 2~3/hpf。

赤沈: 1時間値 12 mm, 2時間値 26 mm。CRP: (-)。尿結核菌培養: 陰性。

尿細胞診: class 1。

入院後経過: DIP では左側に著明な水腎を認めた。

RP では, 左下部尿管に狭窄がみられ, その上方に水尿管を認めた (Fig. 1)。

CT スキャンでは, RP でみられた狭窄部と思われる部位に内部が比較的均一な径 1 cm の腫瘤を認めた (Fig. 2)。

以上より左尿管狭窄による左水腎水尿管症の診断のもと手術を行った。

手術所見: 旁腹直筋切開にて後腹膜腔に達した。左尿管は総腸骨動脈との交叉部では著明な水尿管を呈しており, その下部のレントゲン上の狭窄部と一致する部位に小指頭大の腫瘤を認めた。腫瘤は周囲と強く癒着していたが, 比較的可動性があった。肉眼的には悪性所見がないと判断し腫瘤を含めて尿管狭窄部を 1.5 cm にわたって切除し尿管尿管端々吻合術を行った。その際, 尿管内に double pigtail カテーテルを留置した。

組織学的所見: 切除標本では, 尿管周囲の結合織中

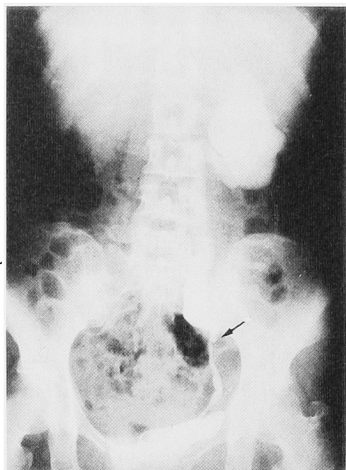


Fig. 1. Retrograde pyelography showed left lower ureteral stricture.

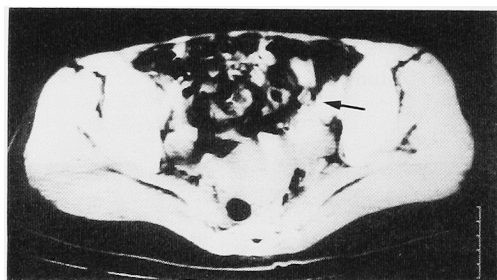


Fig. 2. Abdominal CT scan revealed 1 cm tumor in diameter in the site of left lower ureteral stricture.

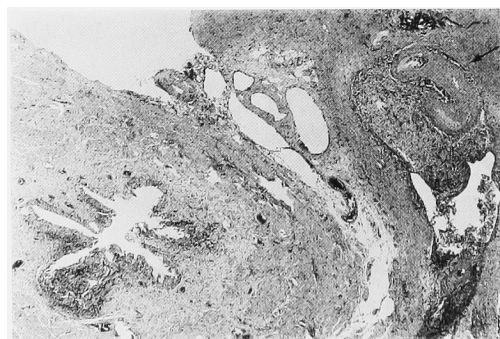


Fig. 3. Pathological findings showed extrinsic type of endometriosis. Arrow shows endometrial tissue. (H.E. stain,  $\times 40$ )

に子宮内膜に類似し、拡張した腺腔と基質がみられ、エンドメトリオーシスの所見であった。しかし、尿管壁にはエンドメトリオーシスは認められなかった (Fig. 3)。

術後経過は良好で double pigtail カテーテルを術後 3 週目に抜去した。術後 3 カ月後の DIP では左水腎の改善がみられた。また、ダナゾールを 3 カ月投与し、術後 4 年 6 カ月を経過した現在、再発をみず水腎も治癒している。

## 考 察

エンドメトリオーシスとは、子宮内膜組織が異所性増殖を示す疾患で、その増殖は卵巣機能の認められる成熟婦人、特に 20~40 歳代で不妊症、婦人科手術の既往のあるものに多い。エンドメトリオーシスはいずれの臓器にも発生しうるが、Masson<sup>1)</sup> および Abeshouse<sup>2)</sup> らによると、尿路系に発生したものはきわめて少ないが、その中では膀胱が最も多く、ついで尿管、腎臓の順であった。しかし、いずれも全体の 1~2% の頻度でしかない。

またエンドメトリオーシスによる尿管通過障害は、

1) 尿管外に発生したエンドメトリオーシスにより尿管が外から圧迫されて通過障害をもたらす extrinsic type

2) 尿管壁に発生したエンドメトリオーシスにより尿管内が狭小化されて通過障害をきたす intrinsic type に分けられる。

しかしながら、両者の鑑別はきわめてむずかしく、区別できない症例も少なくないようである。このタイプ別の分類では、1966 年、Kerr<sup>3)</sup> が欧米の報告例を集計している。それによれば、エンドメトリオーシスによる尿管狭窄 43 例中 extrinsic type 34 例, intrinsic type 9 例で extrinsic type が多いが、本邦による報告でも extrinsic type 19 例, intrinsic type 5 例, 不明 2 例で extrinsic type が多かった。自験例では切除標本の尿管にエンドメトリオーシスがみられなかったことより、extrinsic type であった。なお、自験例は、エンドメトリオーシスによる尿管狭窄の本邦報告 26 例目<sup>4-26)</sup> にあたる (Table 1)。

本症の症状は側腹部痛、下腹部痛などの尿管通過障害の症状にエンドメトリオーシス自体の月経困難、月経過多などが加わることが多い。Kerr の集計では、側腹部痛、下腹部痛が最も多く 49% にみられ、月経困難などの愁訴が 28%、血尿が 26% となっている。自験例では、軽い月経困難あるのみで、側腹部痛、血尿などはみられなかった。

本症の術前診断は非常に難しく、特に尿管腫瘍との鑑別は困難なことが多い。Schneider ら<sup>27)</sup> は両者の鑑別に尿細胞診が有用であると述べている。自験例では、RP の尿管狭窄部の所見は尿管腫瘍による陰影欠損と

Table 1. Case reports of ureteral endometriosis

No.	報告者	年度	年齢	発生部位	浸潤型	既往歴および合併症	治療法
1	広田ら <sup>4)</sup>	1971	45	左中部尿管	Extrinsic	子宮後屈手術	尿管剝離, 腫瘍切除
2	河田ら <sup>5)</sup>	1972	23	左尿管下 1/3	Extrinsic	—	尿管剝離
3	萩中ら <sup>6)</sup>	1975	29	左中部尿管	Intrinsic	左尿管結石	試験切除, 黄体ホルモン投与
4	本間ら <sup>7)</sup>	1976	34	右尿管下端	Extrinsic	右卵巣嚢腫	尿管・膀胱新吻合, 子宮全摘
5	小川ら <sup>8)</sup>	1976	41	左尿管下端	Intrinsic	人工妊娠中絶	左腎尿管摘除, 膀胱部分切除
6	田村ら <sup>9)</sup>	1976	43	左尿管下 1/3	Extrinsic	子宮筋腫	尿管・膀胱新吻合, 子宮全摘
7	藤田ら <sup>10)</sup>	1978	43	右尿管下 1/3	Intrinsic	子宮筋腫, 卵巣嚢腫	右腎尿管摘除
8	上田ら <sup>11)</sup>	1978	45	左下部尿管	Extrinsic	腹膜炎, 子宮筋腫	尿管・尿管吻合, 子宮全摘
9	同上	1978	43	左下部尿管	Extrinsic	高血圧症	尿管・膀胱新吻合, 黄体ホルモン投与
10	関根ら <sup>12)</sup>	1980	51	右尿管下 1/3	Extrinsic	人工妊娠中絶	尿管・吻合
11	橘 ら <sup>13)</sup>	1980	41	右尿管下端	Extrinsic	肺結核	右腎尿管摘除, 膀胱部分切除
12	肥田ら <sup>14)</sup>	1980	42	右下部尿管	不 明	人工妊娠中絶	尿管・尿管吻合, 子宮付属器全摘
13	養田ら <sup>15)</sup>	1981	44	左下部尿管	Extrinsic	人工流産	尿管・膀胱新吻合, 子宮全摘
14	北村ら <sup>16)</sup>	1983	40	左右下部尿管	Extrinsic	不妊症	右腎摘除
15	西田ら <sup>17)</sup>	1983	33	右尿管下 1/3	Extrinsic	右腎盂腎炎, 子宮筋腫	尿管・尿管吻合, 黄体ホルモン投与
16	藤島ら <sup>18)</sup>	1985	36	左下部尿管	Extrinsic	—	左腎尿管摘除, 膀胱部分切除
17	穴戸ら <sup>19)</sup>	1985	54	右下部尿管	Extrinsic	不妊症, 子宮ポリープ	尿管・膀胱新吻合
18	松浦ら <sup>20)</sup>	1985	21	左下部尿管	Extrinsic	人工妊娠中絶	尿管剝離, 黄体ホルモン投与
19	安田ら <sup>21)</sup>	1986	41	右尿管下端	Intrinsic	—	右腎摘除, 黄体ホルモン投与
20	川端ら <sup>22)</sup>	1986	42	右下部尿管	Extrinsic	胆石症	尿管・尿管吻合, 黄体ホルモン投与
21	政井ら <sup>23)</sup>	1986	47	右中部尿管	不 明	子宮筋腫	尿管・尿管吻合
22	平井ら <sup>24)</sup>	1987	33	左下部尿管	Intrinsic	—	腫瘍を含め下部尿管・膀胱摘除
23	高橋ら <sup>25)</sup>	1987	48	右尿管下 1/3	Extrinsic	人工妊娠中絶	右腎尿管摘除
24	渡辺ら <sup>26)</sup>	1987	47	右中部尿管	Extrinsic	—	子宮右付属器摘除, 黄体ホルモン投与
25	同上	1987	35	右下部尿管	Extrinsic	—	尿管・膀胱新吻合
26	自験例	1990	37	左下部尿管	Extrinsic	高血圧症	尿管・尿管吻合, 黄体ホルモン投与

は異なっており, CT 所見を合わせて考えると, 尿管周囲よりの圧迫による狭窄が推定された. いずれにしても, 成熟婦人に原因のわからない尿路通過障害がみられたら, 本症も念頭において検索することが大切であると思われる.

本症の治療としては, 1. 外科的療法, 2. 放射線療法, 3. ホルモン療法の 3 つに大別される. 尿管に発生した場合では, 尿管侵襲の程度, 腎・上部尿路障害の程度および患者の年齢, 妊娠希望の有無など総合的に判断して治療方針を決定しなければならない. しかし, 尿管通過障害にたいして放射線療法はあまり効果が期待できず, ダナゾールなどのホルモン療法もしばしば用いられるが, 根治的治療とならないことが多い. また, 術前に本症と診断することが困難なために, 大部分の症例では外科的療法が行われている. 本邦報告例では, 腎摘出術ないし腎尿管摘除兼膀胱部分切除術を行ったのは 6 例のみであり, 大部分の症例では腎機能障害が軽度であるため自験例のごとく尿管尿管新吻合術や尿管膀胱新吻合術が行われている.

## 結 語

37歳, 女性で extrinsic type のエンドメトリオーシスにより尿管狭窄をきたした 1 例を経験したので報告し, 若干の文献的考察を加えた.

本論文の要旨は第 327 回日本泌尿器科学会北陸地方会において報告した.

## 文 献

- 1) Masson: 川井博 (1963) による, 子宮内膜症にもっとも関心を. 医事新報 No. 2059: 147, 1963
- 2) Abeshouse BS and Abeshouse G: Endometriosis of the urinary tract: a review of the literature and a report of four cases of vesical endometriosis. J Int Coll Surg 34: 43-63, 1960
- 3) Kerr Jr WS Endometriosis involving the urinary tract. Clin Obstet Gynecol 9: 331-357, 1966
- 4) 広田紀昭, 折笠精一 Endometriosis による尿管通過障害の 1 例. 臨泌 25: 237-242, 1971
- 5) 河田栄人, 重松 俊, 江藤耕作, ほか: 尿管 endometriosis について. 泌尿紀要 18: 137-145,

- 1972
- 6) 萩中隆博, 美川郁夫, 川口 光, ほか: 尿管 Endometriosis 症例. 日泌尿会誌 **66**: 286, 1975
  - 7) 本間昭雄, 宮本慎一, 熊本悦明: 尿管 endometriosis 症例. 泌尿紀要 **22**: 371-376, 1976
  - 8) 小川秀弘, 菅間正気, 平岡保紀, ほか: 膀胱兼尿管 endometriosis の1例. 日泌尿会誌 **64**: 291, 1976
  - 9) 田村良樹, 森 明道, 菊池三郎, ほか: 内子宮内膜症による尿管狭窄の1例. 日本医科大学雑誌 **43**: 369, 1976
  - 10) Fujita K: Endometriosis of the ureter. J Urol **116**: 664, 1976
  - 11) Ueda T and Kano M: Ureteral obstruction by endometriosis. Urol Int **33**: 227-233, 1978
  - 12) 関根英明, 岡 薫, 野坂謙二: 尿管エンドメトリオーシスの1例. 日泌尿会誌 **71**: 821, 1980
  - 13) 橋 政昭, 佐々木光信, 丸茂 健, ほか: 膀胱エンドメトリオーシスによる水腎症症例. 臨泌 **35**: 779-783, 1981
  - 14) 肥田大二郎, 三樹明枝, 丸橋敏宏, ほか: 尿管エンドメトリオーシスの1例. 日泌尿会誌 **72**: 1520, 1981
  - 15) 養田 優, 内藤誠二, 平田 弘: Endometriosis による尿管通過障害の1例. 西日泌尿 **45**: 127-130, 1983
  - 16) 北村唯一, 本間之夫, 小林克己, ほか: 骨盤子宮内膜症に起因する外因性尿管閉塞により急性腎不全をきたした1治験例. 日泌尿会誌 **74**: 1687-1691, 1983
  - 17) 西田 享, 草階祐幸, 大越隆一, ほか: Endometriosis による尿管通過障害の一例. 共済医報 **31**: 353-359, 1982
  - 18) 藤島幹彦, 大日向充: Endometriosis による尿管閉塞の1例. 日泌尿会誌 **77**: 357, 1986
  - 19) 宍戸 悟, 木村光隆, 松原正典, ほか: 尿管エンドメトリオーシスの1例. 臨泌 **40**: 321-324, 1986
  - 20) 松浦 勉, 朝蔭裕之, 近藤靖司, ほか: エンドメトリオーシスを伴った遠位尿管閉鎖症. 臨泌 **41**: 719-721, 1987
  - 21) 安田弥子, 秋元 晋, 安田耕作, ほか: エンドメトリオーシスによる尿管狭窄の1例. 西日泌尿 **50**: 1937-1941, 1988
  - 22) 川端 岳, 荒川創一, 石神襄次: Endometriosis により尿管通過障害をきたした1例. 泌尿紀要 **34**: 490-495, 1988
  - 23) 政井俊憲, 橋本 治, 原 好弘: 尿管エンドメトリオーシスの1例. 日泌尿会誌 **78**: 1112, 1987
  - 24) 平井 景, 大原裕彦, 榊原敏彦, ほか: 尿路腫瘍を思わせたエンドメトリオーシスの1例. 日泌尿会誌 **78**: 1962, 1987
  - 25) 高橋義人, 堀江正宣, 磯貝和俊, ほか: 尿管子宮内膜症. 泌尿紀要 **33**: 1884-1889, 1987
  - 26) 渡辺俊幸, 南方茂樹, 北川道夫: 尿管エンドメトリオーシスの2例. 日泌尿会誌 **79**: 377, 1988
  - 27) Schneider V, Smith M, JV and Fable WJ: Urinary cytology in endometriosis of the bladder. Acta Cytologica **24**: 30-34, 1980
- (Received on April 2, 1990)  
(Accepted on May 21, 1990)